



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和7年11月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

今年の冬は暖冬？

院長 芳賀 克夫

皆様、いつも当院の広報誌をご一読いただき、有難うございます。心より感謝申し上げます。

さて、本当に今年の夏は暑かったですね。10月下旬になってもクーラーを付けていました。地球温暖化をひしひしと実感した次第です。それでは、今年の冬はどうなるのか、気になるところです。日本気象協会によると今年は11月から急に寒くなるとのこと。朝と昼の寒暖差も大きいそうです。体調には十分気をつけましょう。また、日本海側では冬の前半(12月～1月)を中心に厳しい寒さや大雪になる可能性があるそうです。冬になっても海水温は例年より高いので、海から水蒸気は大気中に多く供給されます。その水蒸気が寒気団に出会うと雪となり、日本海側では大雪となるそうです。天草でも、また雪が積もることもあるかもしれません。雪が積もった時は、宮地岳など山間部は十分注意しましょう。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

＜＜新任医師紹介＞＞

産婦人科 寺尾 瑠華

10月より産婦人科に赴任いたしました、寺尾瑠華と申します。熊本大学病院産婦人科に入局後、熊本大学病院、福田病院、熊本市市民病院にて研修を行ってまいりました。今回の異動に伴い、初めて天草の地を訪れましたが、外来や病棟のスタッフの皆様にご温かく迎えていただき、大変ありがたく感じております。

この豊かな自然と温かい人々に恵まれた天草で、地域の皆様の健康を支えられるよう、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



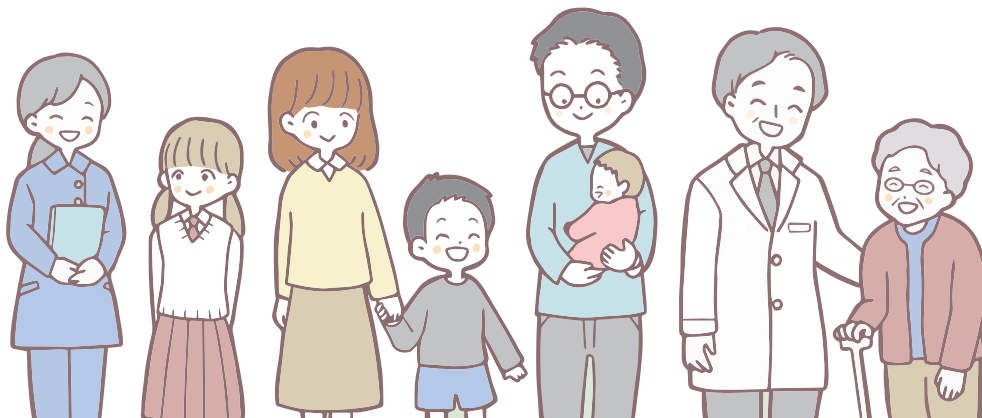
【健康管理センターでの地域住民に対しての 保健予防活動の取り組み】

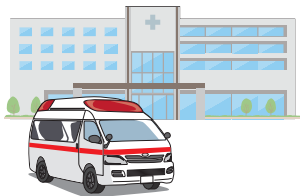
生活習慣病は欧米並みの食生活に起因する激増が懸念されており、万病の元凶ともいわれています。その早期発見の重要性を認識して少しずつですが下記取り組みを始めています。

まずは地域住民に対しての保健予防活動の取り組みとして、保健師や看護師が人間ドックを受診される方への当日の検査結果の説明と、当該結果を踏まえた上でのご家庭における健康面でのアドバイスをしております。

また、健診未受診事業所に関して、電話や訪問による勧奨も開始しました。健診の費用を補助する制度があるので、当該制度のメリットを説明して受けて頂くようにお話をしています。少しずつ営業活動が浸透していけばと思っています。

地域住民の健康な生活の維持増進のために、職員一同努力してまいります。





天草広域連合
消防本部

合同 救急研修会 を開催しました

須崎 了子

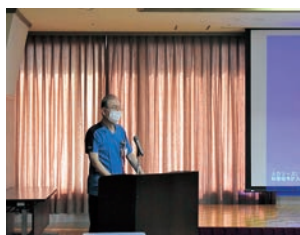
毎年、救急医療週間に行われている、天草広域連合消防本部との合同救急研修会を令和7年9月12日天草中央総合病院にて開催しました。

研修前半では、消防職員からの肋骨骨折、気胸、急性心筋梗塞などの症例をもとに、患者の病態理解や処置の方法など、医師と消防職員のディスカッションが行われました。消防職員がいかに迅速に、的確に傷病者の病態を判断して、病院への搬送を心掛けているかを知り、頼もしくかつ頼りになる存在と改めて感じることができました。

研修後半では、医師・看護師・消防職員によるグループディスカッションを行いました。ディスカッションでは、平時と災害時の傷病者発生を想定し、消防職員の初動対応や病院側の受け入れ対応など、活発な意見交換ができました。

参加者からは「消防職員の現場での対応がよくわかった」「非常に勉強になりました」など高評価でした。あっという間の研修でしたが、普段ゆっくりと関わることのない消防職員と同じ時間を共有することで、顔の見える関係につながったのではないかと思います。

これからも天草広域連合消防本部との連携を強化し、地域住民の方へより質の高い救急医療を提供していきたいと思っています。



第7回緊急輸血シミュレーション訓練を実施しました

検査部 佐々木 由美

当院は毎年、産科的危機的出血に備えて緊急輸血シミュレーション訓練を実施しており、今年は9月1日(月)に実施しました。

全体の流れとしては、救急隊からの大量出血搬送要請の電話から始まり、守衛室(シミュレーションでは総務・医事課が担当)から、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師への大量出血の電話連絡。院内では、当直医師、当直看護師が救急外来で待機し、到着後2Fの第1分娩室へ移動。手術室の準備ができたなら手術室への移動し、緊急手術という流れになります。産科的危機的出血に備え年に一度緊急輸血シミュレーションを行い、各自の役割や流れを確認しています。

今回検査部の流れを、少し紹介させていただきます。まず、病院から大量出血の妊婦さんが救急搬送される連絡がきた時点で、一人の技師へ検査の要請をします。待機技師は、病院到着後、レベル0(緊急で輸血が必要な状態)が発令されていれば、赤血球製剤や血漿製剤を至急で分娩室へ届けます。血液型が不明の場合は、まずO型の赤血球製剤、AB型の凍結血漿製剤(溶解に30分を要する)を輸血し、血液型が判明した時点で、同型血の赤血球製剤に変更します(足りない場合はO型赤血球製剤)。院内の血液製剤が足りない場合は、天草地域医療センターからの融通や日赤血液センターへの注文となります(血液、生化学、凝固、血液型検査を並行して検査)。ここまでの検査部の流れになります。

緊急輸血時には、病院全体の協力が必要となります。スタッフ間の適切かつ的確な伝達が重要であることを、毎年の緊急輸血シミュレーションで感じます。また、天草地域医療センターやタクシー会社(血液製剤の輸送)にもご協力をお願いしております。

各部署の関わりや役割の再確認、終了後の意見交換会で、スムーズな対応ができるよう毎年緊急輸血シミュレーションを開催しなければならないと考えております。



令和7年度第1回感染対策研修会を開催しました

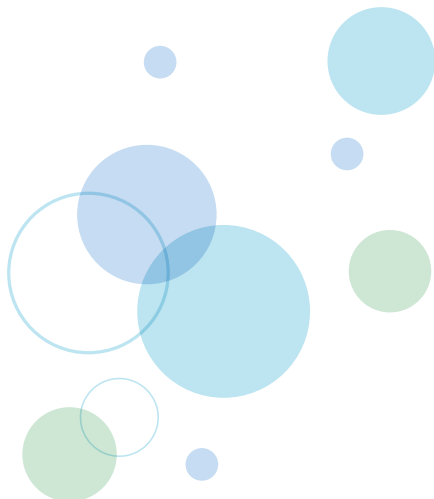
感染防止対策室 坂本 陽子

8月29日(金)に令和7年度第1回感染対策研修会を開催しました。対象は全職員であり、医療の安全と質を高める重要な研修会です。今回は、「抗菌薬適正使用」と「手指衛生」をテーマに取り上げました。

まず、道野薬剤師より「抗菌薬の正しい投与方法」について講義が行われました。抗菌薬は感染症治療に欠かせない一方で、不適切な投与方法では、患者さんの治療に大きな影響を及ぼします。研修では、抗菌薬の効果指標はなんであるのか、どうしてこの投与方法が必要であるのか等、臨床現場で直結する内容が示されました。

続いて、感染防止対策室からは「適切な手指衛生のタイミング」について解説しました。手指衛生は最も基本で効果的な感染対策であり、医療従事者一人ひとりが確実に実践することが、院内感染の防止や患者さんの安全につながります。

当院は今後も職員研修を通じて医療の質向上に努めるとともに、市民の皆様に安心して受診いただける環境を整えてまいります。



「がんを身近に考えようinこらす」が開催されました

地域医療連携室 福田 心

天草市複合施設こらすで「がんを身近に考えようinこらす」が開催されました。8月1日～8月30日までがんに関する展示があり、8月23日(土)にがんサロンと出張がん相談が開催されたので、相談員として参加しました。

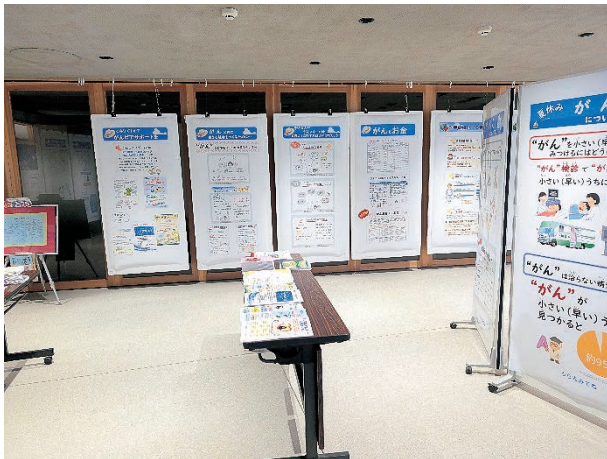
『がんサロン』とは、がん患者さんやご家族が、心の悩みや体験を自由に語ることができる交流の場です。天草地域にある3つのがんサロンである、がんサロン「ふらっと」、天草がんサロン「たんぼぼの会」、上天草がんサロン「アクアマリン」との合同開催でした。サロンの世話人の方が、サロンに参加されたみなさんが話をしやすい雰囲気作りをされ、初めの自己紹介の時はみなさん緊張されていましたが、時間がたつにつれて、みなさん笑顔で話しをされるようになり、心が癒される場所になったのではないかと思います。

別室ではがん専門相談員が個別に相談をうける出張がん相談もありました。

天草市中央図書館と熊本県がん連携サポートセンターのスタッフの方には、がんの展示に関する資料準備、8月23日当日の準備も含めて色々協力していただきました。

昨年8月にも天草市複合施設こらす開催しており、今年は2回目となりました。来年度も開催したいと思っておりますので、みなさまの参加をお待ちしております。

また、当院ではがんサロン「たんぼぼの会」を毎月第3水曜日 13時30分～15時に開催しておりますので、参加希望の方は事前に天草中央総合病院(担当須崎、福田)までご連絡ください。



がんに関する展示



がんサロンの様子



当日のスタッフです

今年度の新人職員を紹介します

3階病棟 北内 天音

今年から天草中央総合病院に入職しました。北内です。正しい知識や技術を習得し、日々成長できるように向上心を持って頑張ります。よろしくお願いします。



3階病棟 松元 将吏

今年から新しく天草中央総合病院の職員となりました松元将吏です。学生時代とは違い、看護師の資格を持つ者として責任ある立場のため、一つ一つの丁寧な看護を行えるように頑張りたいと思います。



3階病棟 野中 涼歌

私は生まれ育った天草で地域に貢献したいと思い天草中央総合病院に入職しました。チームの一員として、業務に責任を持ち、患者様への笑顔を忘れず安全で快適な看護を提供できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



3階病棟 井上 仁葉

私は3階病棟で勤務をさせていただいております。最初は不安でいっぱいでしたが、プリセプターの方や日々一緒に回らせていただいている看護師さんから多くのことを学ぶことができています。早く先輩方のお役に立てるように、患者さんが安心して頼ることができる看護師になりたいと思っています。



2階病棟 武田 桜

2階産婦人科病棟に勤務しています。笑顔を大切に、1日でも早く自立した看護師になれるよう、患者様に安心を届けながら日々学びを重ねています。



2階病棟 山隈 奈々架

私は2階病棟で看護師をしています。新人教育に魅力を感じ入職しました。毎日不安ですが、プリセプターさんを中心に分かりやすいご指導と研修を通し、日々多くのことを学んでいます。これからも多くの知識と技術を身につけ、先輩方のような看護師になれるよう頑張りたいです。



2025年 外来診療担当表(11月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分(受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内 科	呼吸器内科	荘 田 恭 朗	荘 田 恭 朗	金 子 篤 志		金 子 篤 志
			中 嶋 誠 也	小 松 太 陽		中 嶋 誠 也
	消化器内科				岩 澤 秀	岩 澤 秀
	腫瘍内科	熊 野 御 堂 慧			熊 野 御 堂 慧	
	血液内科		宮 家 宏 定			大 学
	循環器内科				荒 木 智(大学)	
	代謝内科	浜 田 英 明(大学)				
	緩和ケア			松 本 衣 里		
	二次検査 担当		竹 口 東 一 郎	竹 口 東 一 郎		
備 考	外来診療は予約制です。					
外 科	診 察	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	坂 本 慶 太	(坂田優海)	村 上 聖 一
	乳腺・その他 検査	竹 口 東 一 郎	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	稲 尾 瞳 子	坂 田 優 海
	備 考	木曜日の午前は手術です。木曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。				
整形外科		木 山 貴 彦	木 山 貴 彦	畑 直 文(第1・3・5)	木 山 貴 彦	大 森 治 希
		大 森 治 希	大 森 治 希	森 修(第2・4)	松 田 隆 寛	松 田 隆 寛
		松 田 隆 寛				
	脊椎外来			塩 川 晃 章		
備 考	手術は毎週水曜日です。					
産婦人科		荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子
		島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美	島 田 清 史 郎	島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美
		寺 尾 瑠 華	島 田 清 史 郎	寺 尾 瑠 華	寺 尾 瑠 華	寺 尾 瑠 華
				片 渕 秀 隆 (第2・4水曜のみ)		
	女性のための ホルモン外来		岩 崎 聡 美			
備 考	※外来診療は予約優先となっております。 女性のためのホルモン外来(火曜日、14～16時)は完全予約制のため電話予約が必要です。					
放射線科	担 当 医	吉 住 和 弘	森 口 直 哉 大津家裕二(大学) (放射線治療医)	森 口 直 哉	担 当 医 松山知彦(大学) (放射線治療医)	
皮膚科	松 永 仁 美(大学)			島 田 秀 一(大学)		
歯科口腔外科	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	
	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	
備 考	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。					
麻酔科 (ペイン外来)		室 園 美 智 博 竹 下 美 智 代	大 津 哲 郎			
	備 考	※外来診療は完全予約制となっております。				

◎学会等により休診となる場合もございますので御了承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院
 〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL) 0969-22-0011(代 表)
 FAX) 0969-24-1808(連携室)
 0969-24-2108(医事課)